

スポーツデータサイエンス&マネジメント ラボ

春学期のラボで解決に取り組んだ課題

モビリティ（電動バイク等）やカヤックによる体験型観光コンテンツ開発の実証調査
（連携先：丸田産業、カヌーパーク岡山）

活動内容

- ・ 電動バイクなどモビリティとモータースポーツ・Maasに関する事前学習
- ・ 丸田産業が貸し出す電動バイクや電動キックボードに乗り、岡山市街で実走調査
- ・ 自然を活用したアドベンチャーツーリズムと経験価値について事前学習
- ・ 旭川にてカヤックに乗り、体験型観光コンテンツの可能性を探るために体験調査

プログラム体験

事前学習
・ 専門知識
・ 政策・理論

事業者からの
事前説明

事業背景、目的、概
要、課題など

モビリティ
やカヤック
での調査

実際に体験することで、机上と
は異なる発見・気づき

学びや気づき
の記録

事業者へフ
ィードバック

振り返り・
改善策検討



総括・成果

- ・ 電動バイク等を観光にどのように活かすことができるかをリアルに考えることができた。
- ・ 事業者との情報交換でビジネスや事業を考える上でのポイントを理解することができた。
- ・ カヤック体験で、身近な環境で新たな観光コンテンツを作ることができると感じた。
- ・ 実際にやってみることで、教室では想像もできない新しい発見や気づきを得ることができた。

モビリティやアウトドアなど体験型（コト消費）プログラムを活用することで、岡山の新たな観光コンテンツを作ることができると示唆された。

担当教員：林 恒宏、久永 啓
所属学生14名、ポスター制作 内田、大西、土居、行部、鳥羽、佐野

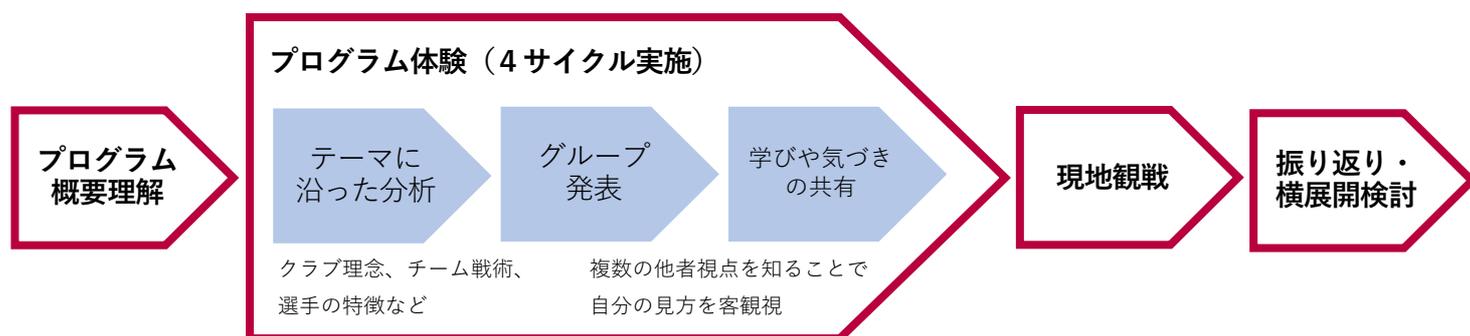
スポーツデータサイエンス&マネジメント ラボ

秋学期のラボで解決に取り組んだ課題

スポーツ観戦をより楽しむためのスポーツ分析・データ活用プログラムの横展開の検討
(連携先：ファジアーノ岡山、トライフープ岡山)

活動内容

ファジアーノ岡山が開催しているサポーター向けの分析塾「ファジアーノ岡山アナリティクスアカデミア（通称：ファジアカ）」のプログラムを体験。そのスポーツの知識や観戦体験が少ないメンバーの興味関心への影響や現地観戦の満足度がどの程度になるかを調査し、プログラムの横展開を検討。



総括・成果

- ・グループメンバー間で注目ポイントを共有することで、自分には無かった視点が増えた
- ・チーム戦術の狙いを理解できていたので、試合で起こることを予測しやすくなった
- ・分析した選手が活躍する姿を見ることで、その選手やチームを身近に感じられた
- ・元々の知識やプレー経験が少なくても、そのスポーツを楽しむことができた

スポーツ分析やデータ活用は、スポーツを「する」だけでなく「みる」ことにも役立ち、新規ファンのスポーツ観戦経験を豊かにできる可能性が示された

担当教員：久永啓、林恒宏
所属学生14名、ポスター制作 岡本、桶屋、高見、比嘉、藤井、船曳、吉田